

もっと知って 住民自治協議会

#38 波瀬むらづくり協議会

波瀬ゆり館



休校中の波瀬小学校を『波瀬ゆり館』と名付けて、体験学習の拠点にしています。



人の寄るむらづくり

活動のイメージ図を波瀬ゆりに例えています。波瀬ゆりの開花期は7月頃で、群生地は道の駅「波瀬駅」の近くにありますが

波瀬地域は松阪市の西端に位置し、面積の9割以上を山林が占めています。気候・地勢が杉の生育に適しており、優良材の産地としても知られています。現在は約260世帯、439人が暮らしており、65歳以上の高齢者が占める割合は70%以上と非常に高齢化率が高い地域です。

波瀬むらづくり協議会は、『人の寄るむらづくり』を活動の柱として、交流人口を増やす目標を掲げています。活動のイメージ図は、波瀬の住民を「波瀬ゆりの鱗茎(球根)」に、部会ごとの取り組みを「波瀬ゆりの花」に、交流する人たちを

「そこに集まる昆虫」に例えています。綺麗な花が咲き、様々な昆虫が集まることで、様々な恩恵を受けます。

自然豊かな環境を活かし、休校中の波瀬小学校を『波瀬ゆり館』と名付け「生きるを学ぶ」をテーマに体験学習の場として活用しています。体験学習のプロダラムは、「山・川・里」という3つのキーワードで、地域住民がそれぞれの得意分野を活かして指導にあたっています。

毎年、市内外の小学校や公民館等各種団体の皆さんにご利用いただきありがとうございます。新型コロナウイルスが収束してまたお会いできることを楽しみにしています。



「生きるを学ぶ」～命をいただく～

体験学習メニューの一番人気はアマゴつかみ体験です。自分たちで捕まえたアマゴを串にさしていただきます。

活動紹介



波瀬ゆりの保存活動

ボランティアの皆さんと波瀬ゆりの自然播種(しぜんはしゅ)をした苗を防護柵の中へ移植する作業を行いました。例年7月頃に、植えかえて根つきつつある花が咲きます。



虹の森環境整備

飯高林業総合センター付近に記念植樹されたツツジ(1,200本)の維持管理を行っています。見頃は4月から5月初旬です。写真中央の小山には、戦国時代に山城が築かれていました。

お知らせ

陶芸空間「虹の泉」



陶芸家・東健次氏(1938～2013)が半生を捧げた陶芸アトスペースです。この度、壁面の清掃と防水塗装が完了しました。是非、来年の特別公開日にご来場ください。

<特別公開日>

毎年4月～11月 第2、第4日曜日
午前10時から午後4時まで(ガイドが常駐)

健康ウォーキング(中級) 巡礼の道

～6.2km西国33ヵ所観音像めぐり～



天開山「泰運寺」にある県指定有形文化財の八角銅鐘(梵鐘)付近の紅葉は、毎年11月頃が見頃です。春の健康ウォーキング(4月第2日曜)の時期は桜が見頃です。